

## 〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、21～26℃台を示し、やや高め～かなり高めでした。

## 〔漁況概要〕

- 中小型まき網――西彼地区では、マサバなどが1日1統当たり7トンの水揚げで、前週並み（前年を下回った）。五島奈留地区では、マアジが1日1統当たり5トンの水揚げで、前週の2.5倍（前年を上回った）。北松南部地区では、マサバなどが1日1統当たり23トンの水揚げで、前週並み（前年を上回った）。
- イカ釣――スルメイカは対馬東岸地区では、1日1統当たり23kgの水揚げで、前週の3.3倍。壱岐勝本地区では、1日当たり155kgの水揚げで、前週の1.5倍。ケンサキイカは対馬東岸地区では、1日1統当たり82kgの水揚げで、前週の2.1倍（前年を上回った）。壱岐勝本地区では、1日当たり24kgの水揚げで、前週の1.2倍（前年を下回った）。
- 定置網――対馬西岸地区では、イシガキダイなどが1日1統当たり56kgの水揚げ。対馬東岸地区では、ブリなどが1日1統当たり138kgの水揚げ。
- 一本釣――北松宇久地区では、ヒラマサが1日当たり228kgの水揚げで、前週並み（前年並み）。野母地区では、マアジが1日1統当たり9kgの水揚げで、前週並み（前年を下回った）。

## 〔日本海スルメイカ情報〕

今期（10/31～11/5の6日間）の沖合イカ釣（船凍船）は、大和堆付近で操業。

沿岸イカ釣（氷蔵船）は、対馬及び山口沖～山陰沖～能登半島沖～佐渡沖で操業。

鳥取県西部（沖合船）5日延86隻、総計9,389箱、1航海最高281箱、平均109.2箱。  
スルメイカを漁獲、魚体は（20～30入）。

（漁業情報サービスセンターより）

## 〔お知らせ〕

漁海況通信「第6-22号 令和6年度 第1回 対馬暖流系マアジ・さば類・いわし類長期漁海況予報」を公表しました。漁海況週報や漁海況通信は、長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」からご覧いただけます。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>